tribune トリビューン しこく
《毎月5・15・25日発行》
発行所　㈱トリビューンしこく
〒770-0874　徳島市南沖洲2丁目8-7-4
電話(088)664-5219　FAX(088)664-4809
大阪支局　大阪市城東区森の宮2-6-1298
電話(06)6961-4018　FAX(06)6961-2898
年間購読料(〒込)7,500円
阿波銀行県庁支店/口座番号・普通0318279
徳島銀行県庁支店/口座番号・普通5283742
郵便振替口座/01650-6-22468
昭和31年2月27日　第三種郵便物認可　第1015号　平成19年8月16日(木曜日)

【掲載記事、写真等の無断転用を禁止します】

TRIBUNE SHIKOKU
編集部では、読者の皆さんからの情報提供や投稿を募集しています。また当社HP上にて、**NET-NEWS**(￥8,400)や**tribune on line**(￥7,500)を設け、最新情報を発信しています。情報提供や購読希望の方はご連絡ください。
☎(088)664-5004 FAX(088)664-4809
電子新聞購読システムtribune On Line
パソコンで見る新聞 http://www.planning21.ne.jp/~tribune/
E-mail-tribune@mail.planning21.ne.jp

電子新聞購読システム tribune On line
パソコンで見る新聞
紙面にない一歩突っ込んだ最新情報 トリビューンHP NET-
お申込みは ☎(088)664-5004 FAX(088)664-4809　URL http://www.planni

徳島県人会

阿波おどり

年に一度の大乱舞！

南大阪連　奈良大仏連

今年も徳島の夏は、阿波踊りで沸いた。初日の十二日は、最高気温が三十六度を超える猛暑日。四十一万人が夏の夜の祭典に酔いしれた。

夕方近くになると、街の彼方此方でぞめきの囃子や太鼓の音が流れ、踊り心を盛り上げる。阿波っ子ならずとも、初めて徳島を訪れた観光客でさえ「血湧き、肉踊る」。それが阿波踊りの魅力。

今年も徳島市の阿波踊りに彼らは帰って来た。「南大阪連」と「大仏連」の面々。南大阪や奈良県に住む徳島県出身者が中心メンバー。ぞめき囃子に魅せられた根っからの踊り大好き人間だ。

南大阪連は、大阪市の住之江区や堺市などに在住する徳島県人で結成された。連員は総勢約五十名。

躍動感ある踊りは見る者に共感を与える。踊りスタイルは「正調阿波踊り」。阿波踊りの伝統を県外で踊り伝えている。

最近では県人会の各種イベントに出演するなど、関西で幅広く阿波踊りをPRしている。

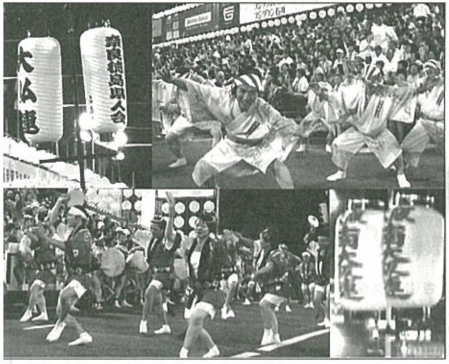
威勢の良い男踊りとしなやかな女踊りが最大の特徴。今年は、新曲「保津川下り」を売出し中の歌手、山崎ていじさんも同行。演舞場で踊りデビューした。

「大仏連」は、奈良県の徳島県人会のメンバーが呼びかけ、平成十四年に発足した。他の県人会連に比べ、後発ではあるが、子供の頃から阿波踊りに親しんでいた踊り手や、徳島の有名連に所属していた猛者が多く、全体的なレベルは飛躍的に上昇している。総勢約四十名。少数精鋭の踊り連だ。

「年に一度の晴れ舞台。高校球児の甲子園みたいなもんですわ」。満面の笑みを浮かべて語る女性連員。貸し切りバスで六時間かけてやってきた。しかし誰一人として疲れた顔など一切見せず。踊り込みが始まるまでの少しの時間も踊りの調整に余念がない。

市役所前演舞場に踊りこんだ「南大阪」、「大仏」の両県人会連。有名連に負けないほどの拍手喝采を満員の桟敷席から浴びていた。

関西で阿波踊りの灯をともし続ける両連。連員も少しずつ増えているという。踊りを通じた交流の輪は着実に広がっている。



▲全国から集まった阿波踊りファンの前でのびのびと踊りを楽しむ「大仏連」（上）と「南大阪連」（下）のみなさん。

徳島市内の老舗葬祭業X、今年春に税務調査説。葬儀費